

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 239 『雲遊萍寄』 うんゆう ひょうき

< 意味 > 定まった居所を持たず、諸国を修行してめぐり歩くこと。また、執着もこだわりももたず、自然の成り行きのままにうつろい行動すること。

語 釈 : 「雲遊」は雲のように、何にもとらわれず自由に動くこと。「萍」は浮き草。「萍寄」は浮き草のように流れにまかせること。

一 言 : サッカーの第22回ワールドカップ(W杯)カタール大会で、初戦のドイツに歴史的勝利を収めた日本チームの森保監督が、座右の銘にされているかどうかは不明ですが、「行雲流水」という四字熟語が使われている、ということをニュースで知りました。「行雲流水」はNO.140で取り上げていますので、類義語のこの四字熟語を挙げて見ました。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」